

九州の星

Star of Kyushu

| 57 |

頑張るあなたを
応援するコーナーです

世界一過酷なサハラ砂漠マラソンで限界突破！

サハラ砂漠マラソンでのゴールの瞬間



安河内 泰斗

YASUKOCHI TAITO

Age 41

勤務先 株式会社コングレ

灼熱のサハラ砂漠を完走！

国際会議やイベント・施設運営を手掛ける株式会社コングレに勤務している安河内さん。趣味が高じて、2018年、「世界で最も過酷」と称されるサハラ砂漠マラソンに参加し、日本人1位で完走した。

「日中は気温が40度を超え熱中症のリスクが高く、夜は気温が急激に下がる過酷な環境下でした。砂が靴に入り込み足を痛めながらも7日間で約250km走りました」

マラソンを始めたのは33歳の時だった。

「それまでは運動が嫌いでしたが、練習をすればするほどタイムが速くなるマラソンはやっていて楽しかったです」

偶然テレビでサハラ砂漠マラソンを見て衝撃を受け、「自分も走ってみたい」と、

39歳の時にエントリーした。

「実際に参加してみると、砂漠を完走するという達成感はもちろん、参加者との交流が楽しく、多様な生き方を知り、価値観が大きく変わりました」

今年は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、参加予定だった南米アマゾンのジャングルマラソンを見送った。

「外出自粛期間中、世界中にいるランナー仲間とオンライン飲み会をすることができたのは良かったです」

コロナが落ち着いたら、再び海外のマラソンに挑戦する予定だ。

「最終目標は南極のレース！」
思い描いたゴールを目指し走り続ける。



▲サハラ砂漠マラソンでは、食料や寝袋など約10kgの荷物を背負って走る(写真は実際に安河内さんが背負った荷物)



▲サハラ砂漠マラソンの様子